手術前に服用中止を考慮すべき医薬品（1/2）

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間（目安）
①ワーファリン錠0.5mg、1mg、5mg	ワルファリンカリウム	出血		3～5日
②ヘパリンカルシウム皮下注 5千単位（持続点滴を除く）	ヘパリンカルシウム	出血		12時間
③プラザキサカプセル75mg、110mg	ダビガトランエテキシラート	出血		1～4日（腎機能で調節）（硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔では2日以上）
④イグザレルト錠10mg、15mg	リバーロキサバン	出血		1～2日
⑤リクシアナ錠15mg、30mg、60mg	エドキサバン	出血		1～2日
⑥エリキュース錠2.5mg、5mg	アピキサバン	出血		1～2日
⑦バイアスピリン錠100mg	アスピリン	出血		7日
⑧パナルジン錠100mg	チクロピジン塩酸塩	出血		7～14日（硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔では10～14日）
⑨プラビックス錠25mg、75mg	クロピドグレル	出血		7～14日（硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔では10～14日）
⑩エフィエント錠2.5mg、3.75mg 5mg、20mg	プラスグレル塩酸塩	出血		7～14日（硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔では10～14日）
⑪ブリリンタ錠60mg、90mg	チカグレロル	出血		5日
⑫プレタールOD錠50mg、100mg	シロスタゾール	出血		1～3日（硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔では2日）
⑬エパデールS300、600、900 エパデールカプセル300mg	イコサペント酸エチル	出血		7日
⑭ロトリガ粒状カプセル	オメガ3脂肪酸	出血		7日
⑮ドルナー錠20μ g	ベラプロストナトリウム	出血		1日
⑯アンプラーグ錠50mg、100mg	サルポグレラート塩酸塩	出血		1日
⑰セロクラール錠10mg、20mg	イフェンプロジル酒石酸塩	出血		2日
⑱サアミオン錠5mg	ニセルゴリン	出血		1日
⑲ケタスカプセル10mg	イブジラスト	出血		3日

手術前に服用中止を考慮すべき医薬品（2/2）

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間（目安）
⑳トラピジル錠50mg、100mg	トラピジル	出血		2日
㉑ペルサンチン錠25mg、100mg	ジピリダモール	出血		2日
㉒コメリアンコーワ錠50、100	ジラゼプ塩酸塩水和物	出血		2日
㉓プロレナール錠5μｇ	リマプロストアルファデクス	出血		1日
㉔ノルバデックス錠10mg、20mg	タモキシフェン	血栓症		手術前3週間、手術後3週間
㉕フェアストン錠40mg、60mg	トレミフェン	血栓症		手術前3週間、手術後3週間
㉖フェソロデックス筋注250mg	フルベストラント	血栓症		手術前3週間、手術後3週間
㉗ヒスロンH200	メドロキシプロゲステロン	血栓症		手術前4週間、手術後2週間、産後4週間
㉘プロベラ錠2.5mg	メドロキシプロゲステロン	血栓症		プレマリン錠併用時は手術前4週間、手術後2週間、産後4週間
㉙プレマリン錠0.625mg	結合型エストロゲン	血栓症		プロベラ錠併用時は手術前4週間、手術後2週間、産後4週間
㉚プラノバール錠	ノルゲストレル・エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間、産後4週間
㉛ヤーズフレックス配合錠	ドロスピレノン・エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間、産後4週間
㉜ルナベル配合錠	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間、産後4週間
㉝マーベロン21、マーベロン28	デソゲストレル・エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間、産後4週間
㉞メノエイドコンビパッチ	エストラジオール・ノルエチステロン	血栓症		手術前4週間、手術後2週間、産後4週間
㉟ビビアント錠20mg	バゼドキシフェン	血栓症		3日
㊱エビスタ錠60mg	ラロキシフェン塩酸塩	血栓症		3日
㊲メトグルコ錠250mg、500mg	メトホルミン塩酸塩	乳酸アシドーシス		2日（全身麻酔の場合）
㊳ジベトス錠50mg	ブホルミン塩酸塩	乳酸アシドーシス		2日（全身麻酔の場合）

●サプリメントの取り扱いについて
エフェドラ（マオウ）、魚油、セイヨウオトギリソウ（セントジョーンズワート）が含まれるものは必ず中止。
その他のものは基本的に全て中止とするが、難しい場合は主治医判断とする。
手術の決まった時点から中止とし、中止期間は問わないものとする。
●再開時期記載のない薬剤は主治医の判断による
●中止薬一覧以外の薬剤（免疫抑制薬や糖尿病治療薬など）は主治医の判断とする

・参考文献

添付文書（製薬会社からの回答含む）、ワーファリン適正使用情報第3版
心房細動治療（薬物）ガイドライン（2013改訂版）、循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン（2009年改訂版）
抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン（2012年版）、周術期管理チームテキスト第3版、手術医療の実践ガイドライン（2013年改訂版）
産婦人科診療ガイドライン（2017年版）

・監修

小谷医師（内科）、小菅医師（内科）、武藤医師（整形外科）、平出医師(整形外科)
藤川医師（婦人科）、大竹医師（麻酔科）

牧田総合病院　医療安全管理委員会　薬剤部　2020年7月改訂

消化器内視鏡前に服用中止を考慮すべき医薬品(1/2)

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間(目安)
①ワーファリン錠0.5mg、1mg、5mg	ワルファリンカリウム	出血		休薬不要(※①～③) 3～5日(※④)→ヘパリン置換
②ヘパリンカルシウム皮下注 5千単位 (持続点滴を除く)	ヘパリンカルシウム	出血		休薬不要(※①～③) 12時間(※④)
③プラザキサカプセル75mg、110mg	ダビガトランエテキシラート	出血		休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
④イグザレルト錠10mg、15mg	リバーロキサバン	出血		休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
⑤リクシアナ錠15mg、30mg、60mg	エドキサバン	出血		休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
⑥エリキュース錠2.5mg、5mg	アピキサバン	出血		休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
⑦バイアスピリン錠100mg	アスピリン	出血		休薬不要(※①～③) 3～5日(※④) 他剤併用時(血栓症高リスク)は アスピリンのみ休薬不要
⑧パナルジン錠100mg	チクロピジン塩酸塩	出血		休薬不要(※①～③) 5～7日(※④)
⑨プラビックス錠25mg、75mg	クロピドグレル	出血		休薬不要(※①～③) 5～7日(※④)
⑩エフィエント錠2.5mg、3.75mg 5mg、20mg	プラスグレル塩酸塩	出血		休薬不要(※①～③) 5～7日(※④)
⑪ブリリンタ錠60mg、90mg	チカグレロル	出血		休薬不要(※①～③) 5日(※④)
⑫プレタールOD錠50mg、100mg	シロスタゾール	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④) 他剤併用時(血栓症高リスク)は シロスタゾールのみ休薬不要
⑬エパデールS300、600、900 エパデールカプセル300mg	イコサペント酸エチル	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑭ロトリガ粒状カプセル	オメガ3脂肪酸	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑮ドルナー錠20μ g	ベラプロストナトリウム	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑯アンプラーグ錠50mg、100mg	サルポグレラート塩酸塩	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)

消化器内視鏡前に服用中止を考慮すべき医薬品(2/2)

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間(目安)
⑰セロクラール錠10mg、20mg	イフェンプロジル酒石酸塩	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑱サアミオン錠5mg	ニセルゴリン	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑲ケタスカプセル10mg	イブジラスト	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑳トラピジル錠50mg、100mg	トラピジル	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
㉑ペルサンチン錠25mg、100mg	ジピリダモール	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
㉒コメリアンコーワ錠50、100	ジラゼプ塩酸塩水和物	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
㉓プロレナール錠5μg	リマプロストアルファデクス	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)

※

出血危険度による消化器内視鏡の分類(①→④ほど危険度高い)

①通常消化器内視鏡・・・上部消化管内視鏡(経鼻内視鏡を含む)、下部消化管内視鏡、超音波内視鏡、カプセル内視鏡、内視鏡的逆行性膵胆管造影

②内視鏡的粘膜生検(超音波内視鏡下穿刺吸引術を除く)

③出血低危険度の消化器内視鏡・・・バルーン内視鏡、マーキング(クリップ、高周波、点墨など)、消化管・膵管・胆管ステント留置法(切開手技を伴わない)、内視鏡的乳頭バルーン拡張術

④出血高危険度の消化器内視鏡・・・ポリペクトミー、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剝離術、内視鏡的乳頭括約筋切開術、内視鏡的十二指腸乳頭切除術、超音波内視鏡下穿刺吸引術、経皮内視鏡的胃瘻造設術(胃瘻交換は中止対象にはならない)、内視鏡的食道・胃静脈瘤治療、内視鏡的消化管拡張術、内視鏡的粘膜焼灼術、その他

●再開時期記載のない薬剤は主治医の判断による

●中止薬一覧以外の薬剤(免疫抑制薬や糖尿病治療薬など)は主治医の判断とする

・参考文献
抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン(2012年版)
心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013改訂版)
産婦人科診療ガイドライン(2017年版)

・監修
小谷医師(内科)、山﨑武志医師(内科)、徳弘医師(内科)、山﨑麻衣子医師(内科)、大竹医師(麻酔科)

薬剤対応一覧表（五十音順）

薬剤名称	一般名称（配合剤含む）	薬剤番号（手術前）	薬剤番号（内視鏡前）
アスピリン腸溶錠	アスピリン	⑦	⑦
アスファネート配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
アンジュ	低容量ピル	㉝	ー
アンプラーグ	サルポグレラート塩酸塩	⑯	⑯
イグザレルト	リバーロキサバン	④	④
イコサペント酸エチル	イコサペント酸㊥チル	⑬	⑬
イスキア配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
イニシンク配合錠	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
イフェンプロジル	イフェンプロジル酒石酸塩	⑰	⑰
イブジラスト	イブジラスト	⑲	⑲
ウェールナラ	ホルモン配合剤	㉚	ー
エクメット配合錠HD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
エクメット配合錠LD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
エストラーナ	卵胞ホルモン製剤	㉚	ー
エストリール	卵胞ホルモン製剤	㉚	ー
エパキャップソフト	イコサペント酸㊥チル	⑬	⑬
エパデール	イコサペント酸㊥チル	⑬	⑬
エパラ	イコサペント酸㊥チル	⑬	⑬
エパロース	イコサペント酸㊥チル	⑬	⑬
エビスタ	ラロキシフェン塩酸塩	㊱	ー
エフィエント	プラスグレル塩酸塩	⑩	⑩
エリキュース	アピキサバン	⑥	⑥
オパルモン	リマプロストアルファデクス	㉓	㉓
グリコラン	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
クロピドグレル	クロピドグレル	⑨	⑨
ケアロードLA	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
ケタス	イブジラスト	⑲	⑲
コートリズム	シロスタゾール	⑫	⑫
コメリアン	ジラゼプ塩酸塩㊧和物	㉒	㉒
コンプラビン配合錠	クロピドグレル	⑨	⑨
サアミオン	ニセルゴリン	⑱	⑱
サルポグレラート	サルポグレラート塩酸塩	⑯	⑯
シスレコン	イコサペント酸㊥チル	⑬	⑬
ジピリダモール	ジピリダモール	㉑	㉑
ジベトス	ブホルミン塩酸塩	㊳	ー
ジベトンS腸溶錠	ブホルミン塩酸塩	㊳	ー
ジュリナ	卵胞ホルモン製剤	㉚	ー
ジラゼプ	ジラゼプ塩酸塩㊧和物	㉒	㉒
シロシナミン	シロスタゾール	⑫	⑫
シロスタゾール	シロスタゾール	⑫	⑫
シロスレット	シロスタゾール	⑫	⑫
シンフェーズT	低容量ピル	㉝	ー
セロクラール	イフェンプロジル酒石酸塩	⑰	⑰
ゼンアスピリン	アスピリン	⑦	⑦
ソルミラン	イコサペント酸㊥チル	⑬	⑬
タケルダ配合錠	アスピリン	⑦	⑦
タモキシフェン	タモキシフェン	㉔	ー
チクロピジン	チクロピジン塩酸塩	⑧	⑧
ディビゲル	卵胞ホルモン製剤	㉚	ー
デュファストン	黄体ホルモン製剤	㉘	ー
トラピジル	トラピジル	⑳	⑳
トリキュラー	低容量ピル	㉝	ー
ドルナー	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
ナサチーム	イコサペント酸㊥チル	⑬	⑬
ニセルゴリン	ニセルゴリン	⑱	⑱
ニトギス配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
ノアルテン	黄体ホルモン製剤	㉘	ー
ノルバデックス	タモキシフェン	㉔	ー
バイアスピリン	アスピリン	⑦	⑦
バスタレルF	トリメタジジン塩酸塩	⑳	⑳
バッサミン配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
パナルジン	チクロピジン塩酸塩	⑧	⑧
バファリン配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
ヒスロン	黄体ホルモン製剤	㉘	ー
ヒスロンH	黄体ホルモン製剤	㉗	ー
ビビアント	バゼドキシフェン	㉟	ー
ファモター配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
フェアストン（40、60）	トレミフェン	㉕	㉕
フェソロデックス筋注	フルベストラント	㉖	㉖
プラザキサ	ダビガトラン㊥テキシラート	③	③
プラノバール	ホルモン配合剤	㉚	ー
プラビックス	クロピドグレル	⑨	⑨

薬剤名称	一般名称（配合剤含む）	薬剤番号（手術前）	薬剤番号（内視鏡前）
フリウェル配合錠LD	ホルモン配合剤	㉜	ー
ブリリンタ	チカグレロル	⑪	⑪
プレタール	シロスタゾール	⑫	⑫
プレトモール	シロスタゾール	⑫	⑫
プレマリン	卵胞ホルモン製剤	㉙	ー
プロゲストン（2.5、5）	黄体ホルモン製剤	㉘	ー
プロゲストン（200）	黄体ホルモン製剤	㉗	ー
プロサイリン	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
プロセキソール	卵胞ホルモン製剤	㉚	ー
プロベラ	黄体ホルモン製剤	㉘	ー
プロレナール	リマプロストアルファデクス	㉓	㉓
ヘパリンカルシウム皮下注	ヘパリンカルシウム	②	②
ベラサスLA	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
ベラプロストNa	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
ペルサンチン	ジピリダモール	㉑	㉑
ホーリン	卵胞ホルモン製剤	㉚	ー
ホルダゾール	シロスタゾール	⑫	⑫
マーベロン	低容量ピル	㉝	ー
マイトジン	チクロピジン塩酸塩	⑧	⑧
メタクト配合錠HD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メタクト配合錠LD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メトアナ配合錠HD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メトアナ配合錠LD	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メトグルコ	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メトホルミン塩酸塩	メトホルミン塩酸塩	㊲	ー
メドロキシプロゲステロン（2.5、5）	黄体ホルモン製剤	㉘	ー
メドロキシプロゲステロン（200）	黄体ホルモン製剤	㉗	
メノエイド	ホルモン配合剤	㉞	ー
メルブラール	イコサペント酸㊥チル	⑬	⑬
ヤーズ	ホルモン配合剤	㉛	ー
ヤーズフレックス	ホルモン配合剤	㉛	ー
ヨウリダモール	ジピリダモール	㉑	㉑
ラロキシフェン塩酸塩	ラロキシフェン塩酸塩	㊱	ー
リクシアナ	エドキサバン	⑤	⑤
リマプロストアルファデクス	リマプロストアルファデクス	㉓	㉓
ル・エストロジェル	卵胞ホルモン製剤	㉚	ー
ルトラール	黄体ホルモン製剤	㉘	ー
ルナベル配合錠LD	ホルモン配合剤	㉜	ー
ルナベル配合錠ULD	ホルモン配合剤	㉜	ー
ロコルナール	トラピジル	⑳	⑳
ロトリガ	オメガ-3脂肪酸㊥チル	⑭	⑭
ワーファリン	ワルファリン㊧リウム	①	①
ワルファリンK	ワルファリン㊧リウム	①	①

出血に注意が必要な薬剤一覧

医薬品の一般名		商品名
抗血液凝集剤	ワルファリンカリウム	ワーファリン、ワルファリンK
	ヘパリン	ヘパリンカルシウム皮下注
	ダビガトランエテキシラート	プラザキサ
	リバーロキサバン	イグザレルト
	エドキサバン	リクシアナ
	アピキサバン	エリキュース
血小板凝集抑制剤	アスピリン	アスピリン腸溶錠、アスファネート配合錠A、ゼンアスピリン、イスキア配合錠A、コンプラビン配合錠、タケルダ配合錠、ニトギス配合錠A、バイアスピリン、バッサミン配合錠A、バファリン配合錠A、ファモター配合錠A、
	チクロピジン塩酸塩	パナルジン、マイトジン、チクロピジン
	クロピドグレル	コンプラビン配合錠、クロピドグレル、プラビックス
	プラスグレル塩酸塩	エフィエント
	チカグレロル	ブリリンタ
	シロスタゾール	コートリズム、シロスレット、シロシナミン、シロスタゾール、プレタール、プレトモール、ホルダゾール
	イコサペント酸エチル	イコサペント酸エチル、エパキャップソフト、エパデール、エパラ、エパロース、ソルミラン、ナサチーム、メルブラール
	オメガ-3脂肪酸エチル	ロトリガ
	ベラプロストナトリウム	ケアロードLA、ベラサスLA、ドルナー、プロサイリン、ベラプロストNa
	サルポグレラート塩酸塩	アンプラーグ、サルポグレラート
脳血管障害改善剤	イフェンプロジル酒石酸塩	イフェンプロジル、セロクラール
	ニセルゴリン	サアミオン、ニセルゴリン
	イブジラスト	ケタス、イブジラスト
冠血管拡張剤	トラピジル	トラピジル、ロコルナール
	ジピリダモール	ジピリダモール、ペルサンチン、ヨウリダモール
	ジラゼプ塩酸塩水和物	コメリアン、ジラゼプ
	トリメタジジン塩酸塩	バスタレルF
血管拡張剤	リマプロストアルファデスクス	オパルモン、プロレナール、リマプロストアルファデクス

血栓症に注意が必要な薬剤一覧

医薬品の一般名		商品名
抗癌剤	タモキシフェン	タモキシフェン、ノルバデックス
	トレミフェン	フェアストン（40、60）
	フルベストラント	フェソロデックス
黄体ホルモン製剤		デュファストン、ノアルテン、ヒスロン、ヒスロンH、プロベラ、プロゲストン（2.5、5）、プロゲストン（200）、メドロキシプロゲステロン、ルトラール
卵胞ホルモン製剤・配合剤		ウェールナラ、エストラーナ、エストリール、ジュリナ、ディビゲル、プラノバール、フリウェル配合錠LD、プレマリン、プロセキソール、ホーリン、メノエイド、ヤーズ、ヤーズフレックス、ル・エストロジェル、ルナベル配合錠LD、ルナベル配合錠ULD
低容量ピル		アンジュ、シンフェーズT、トリキュラー、マーベロン
SERM	バゼドキシフェン	ビビアント、バゼドキシフェン
	ラロキシフェン塩酸塩	エビスタ、ラロキシフェン

乳酸アシドーシスに注意が必要な薬剤一覧

医薬品の一般名		商品名
ビグアナイド製剤	メトホルミン塩酸塩	イニシンク配合錠、エクメット配合錠LD、エクメット配合錠HD、グリコラン、メタクト配合錠LD、メタクト配合錠HD、メトアナ配合錠LD、メトアナ配合錠HD、メトグルコ、メトホルミン塩酸塩
	ブホルミン塩酸塩	ジベトス、ジベトンS腸溶錠

赤字：院内採用
青字：院外採用薬
※循環動態に影響を及ぼすとされるβ 遮断薬、α β 遮断薬、ACE阻害薬、ARB、利尿薬等は一覧には含んでいません
※ヨード造影剤使用の際はビグアナイド製剤を処置前後48時間中止（放射線部管理のヨード造影剤問診票参照）
※採用状況は2020年5月現在のものです